



平成 29 年度

クリーン仙台推進員

ごみ集積所排出実態調査結果

平成 30 年 3 月

仙台市環境局家庭ごみ減量課

クリーン仙台推進員 ～ごみ集積所排出実態調査結果～

一 目的

クリーン仙台推進員の皆さまが地域の中で実際に活動していくうえで、お住まいの地域の「ごみ排出の実態」を把握することにより、今後の活動の方向性を探りながら、適正排出、ごみ減量・リサイクルの推進、環境美化活動につながる手掛りとしていただくとともに、町内会等の皆さまと一緒に活動していただくことで、地域における環境意識の高揚を図ることを目的といたしました。

二 調査員数

クリーン仙台推進員 821 人，協力者 833 人，合わせて 1,654 人

三 調査日

平成 29 年 10 月で各クリーン仙台推進員が選定した日

四 調査場所

各クリーン仙台推進員が選定したごみ集積所，合計 1,399 か所

五 調査内容

ごみ集積所排出実態調査票

(1) 調査対象の集積所の状況

集積所の場所や形状，利用者の世帯数及び地域性について記載していただきました。

(2) 家庭ごみの排出状況

正しい出し方や間違った出し方のごみ袋の数の確認や，リサイクル可能な資源物の混入状況等を調査していただきました。

(3) プラスチック製容器包装の排出状況

正しい出し方や間違った出し方のごみ袋の数の確認，プラスチック製容器包装以外のプラスチック製品，及び汚れのひどいものの混入状況等を調査していただきました。

(4) 缶・びん・ペットボトルの排出状況

フタがはずされているか，ラベルがはがされているか，ペットボトルがつぶされているか等を調査していただきました。

(5) 紙類定期回収の排出状況

品目ごとの分別及び排出状況や紙類収集曜日の掲示等を調査していただきました。

六 集計結果（まとめ）

ごみ集積所の鳥獣被害対策（ネット等）の実施状況，家庭ごみ及びプラスチック製容器包装の指定袋の使用割合などは全体的に良好な結果となっております。

また，缶・びん・ペットボトルや紙類の排出状況についても概ね良好な結果となりましたが，家庭ごみへのリサイクル可能な資源物の混入割合などは，さらなる改善が必要な結果となりました。

今年度は「ワケアップ!!仙台・ごみ減量キャラバン 2017」の一環で「ごみ集積所調査啓発キャラバン」と称し，181 名の推進員の皆さまにご協力をいただき，本市職員 368 名も調査集積所 511 か所において協働で調査を行いました。職員にとって家庭ごみの排出状況や地域での取り組みに実際に触れる機会ともなり，大変貴重な経験となりました。また，皆さまからいただいた調査票は，本市のごみ減量の施策を検討する上で貴重なデータとなります。今後とも市民の皆さまと協働で推進していきたいと考えております。とりわけ，ごみの減量・リサイクルにおける地域のリーダーとして活躍されているクリーン仙台推進員の皆さまには，引続きご理解とご協力をお願いいたします。なお，調査結果の詳細につきましては，以下 1～8 のとおりです。

1 調査概要

平成 29 年 10 月に排出状況を調査いただきました。その月内で家庭ごみは 2 回、プラスチック製容器包装、缶・びん・ペットボトル及び紙類は 1 回の収集日を選んでいただきました。

2 各区の調査員数および調査箇所数

H29 年度実績

行政区	調査員数			調査箇所数
	推進員	協力者	合計	
青葉区	221	187	408	398
宮城野区	122	107	229	197
若林区	137	106	243	244
太白区	179	198	377	302
泉区	162	235	397	258
合計	821	833	1,654	1,399

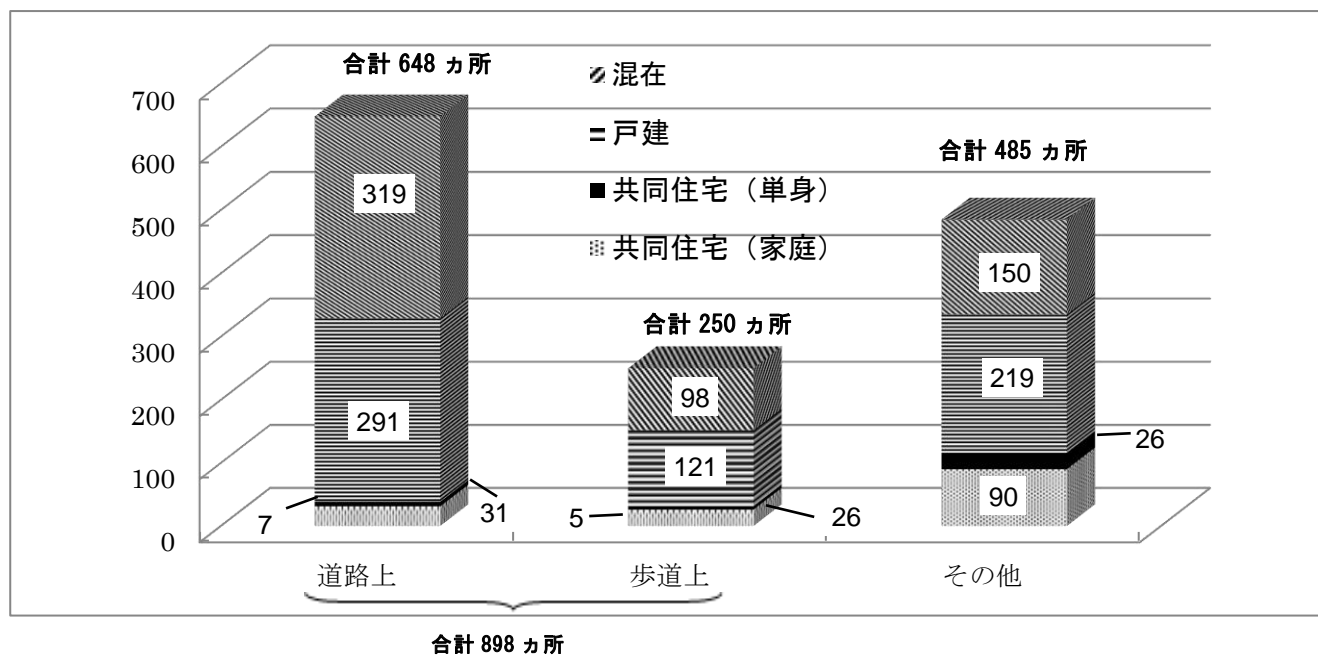
過去の実績

年度	調査員数	調査箇所数
28	1,600	1,662
27	1,716	1,850
26	1,599	1,762
25	1,579	1,699
24	1,580	1,589

平成 29 年度の実績は、左上の表のとおり調査箇所数は 1,399 カ所となり、平成 28 年度に比べて 263 カ所減少しましたが、調査員数については 1,654 名と平成 28 年度より 54 名多くの方にご協力いただきました。

3 調査したごみ集積所の状況

(1) 設置場所ごとの利用者の居住形態



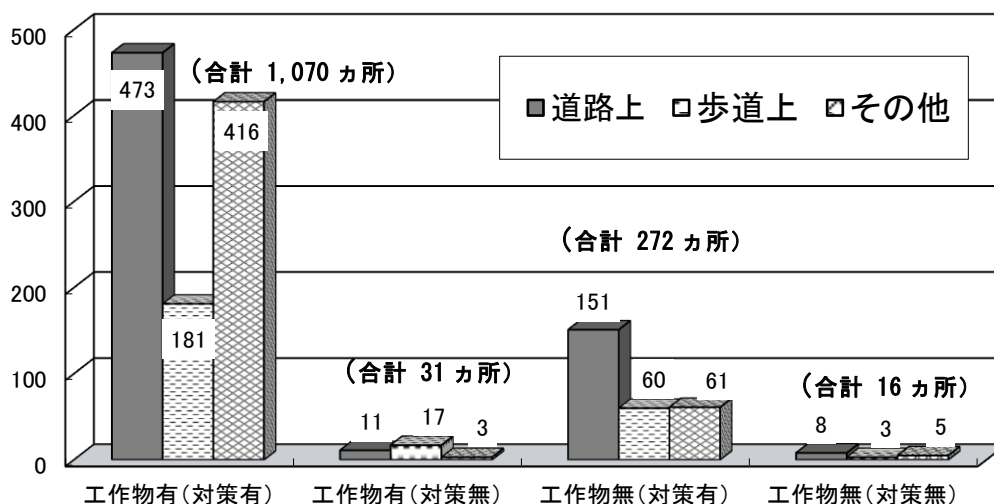
これは、調査したごみ集積所の設置場所ごとに利用者の居住形態を表したグラフです。調査した集積所のうち道路上・歩道上に設置されている集積所は合わせて 898 カ所で、全体の 64.9% を占めています。

また、戸建住宅にお住まいの方が利用されるごみ集積所は 631 カ所（全体の 45.6%）、戸建と共同住宅にお住まいの方が混在して利用している集積所は 567 カ所（全体の 40.9%）でした。

※当該設問に対する未回答（16）は除いています

(2) 設置場所と鳥獣被害対策の実施状況

箇所数

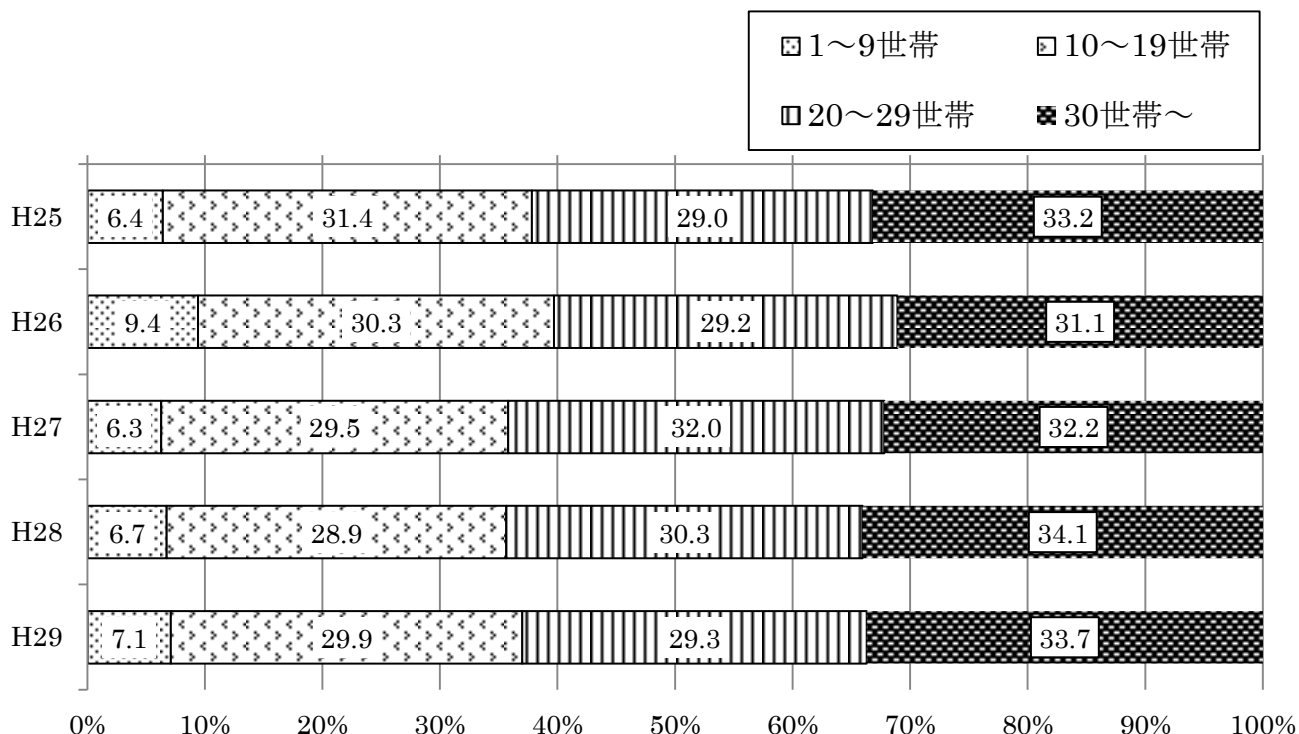


これは、設置場所と鳥獣被害対策の状況についてのグラフです。今回の調査ではネット等による鳥獣被害対策がなされた集積所は「工作物※あり(対策有)」が1,070カ所、「工作物なし(対策有)」が272カ所、合わせて1,342カ所(全体の約97%)となり、ほとんどの集積所は鳥獣被害対策が講じられていました。また、工作物もなく鳥獣対策も講じていない集積所は16カ所で約1.2%でした。

※工作物…集積所のごみの飛散などの防止を目的に作られた囲いなど

※当該設問に対する未回答(10)は除いています

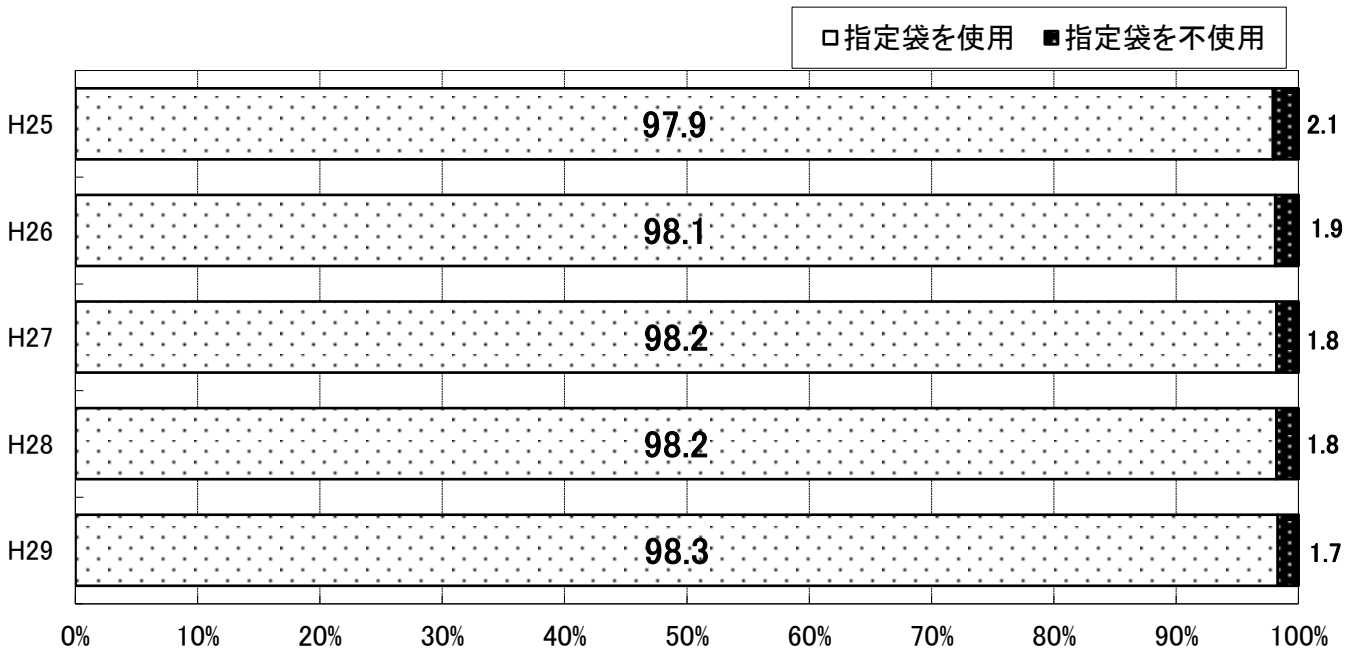
(3) 利用世帯数(年度別)



これは、集積所ごとの利用世帯数の割合について表したグラフです。調査対象の集積所を利用している世帯は、「1～9世帯」が7.1%、「10～19世帯」が29.9%、「20～29世帯」が29.3%、「30世帯以上」が33.7%となっており、今回調査した集積所の約63%は20世帯以上の方が利用している比較的排出量が多い集積所となっています。

4 家庭ごみの排出状況

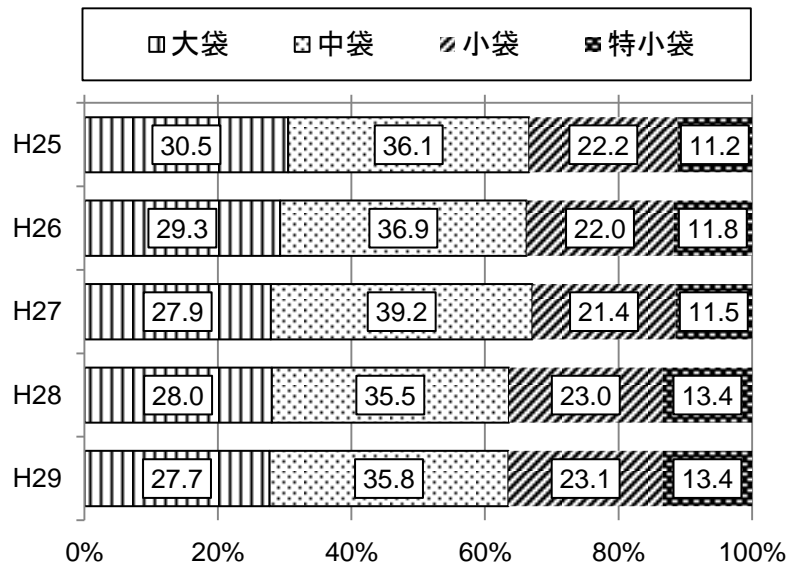
(1) 指定袋の使用割合（年度別）



これは、家庭ごみの指定袋の使用状況を年度別に表したグラフです。概ね正しい指定袋が使用されています。

(2) 指定袋のサイズの内訳（年度別）

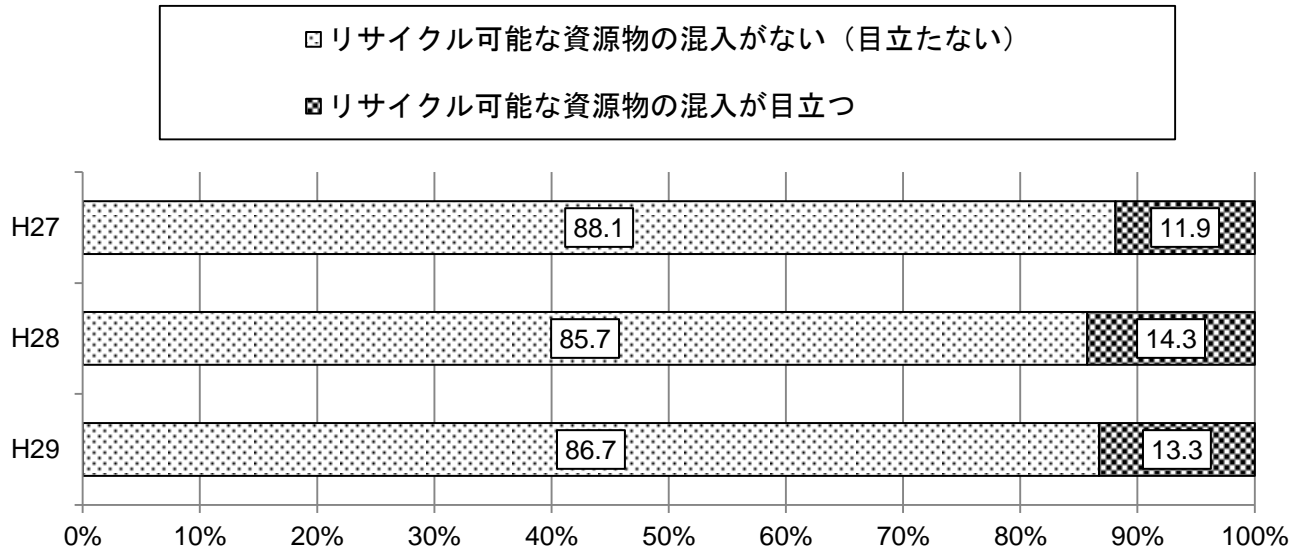
H29 調査指定袋数 調査箇所数 1,399カ所		H28 調査指定袋数 調査箇所数 1,662カ所	
大袋	18,650 袋	大袋	21,048 袋
中袋	24,151 袋	中袋	26,702 袋
小袋	15,552 袋	小袋	17,308 袋
特小	9,023 袋	特小	10,059 袋
合計	67,376 袋	合計	75,117 袋



これは、調査した家庭ごみを指定袋のサイズごとに調べた割合を表したグラフです。

平成 29 年度は多い順に「指定袋中」35.8%、「指定袋大」27.7%、「指定袋小」23.1%、「指定袋特小」13.4%となっております。このうち大袋の割合は、平成 28 年度と比較すると、0.3 ポイント減少し、中袋の割合は 0.3 ポイント増加しています。全体的には前年比ほぼ横ばいの結果となりましたが、徐々に大袋・中袋の使用からより小さな袋の使用に切り替えている傾向がうかがえます。また、集積所 1 カ所あたりの排出された袋数については、27 年度は 48.6 個、28 年度は 45.2 個であるのに対し、29 年度は 48.2 個となり、1 カ所あたりの袋数は若干増加しています。

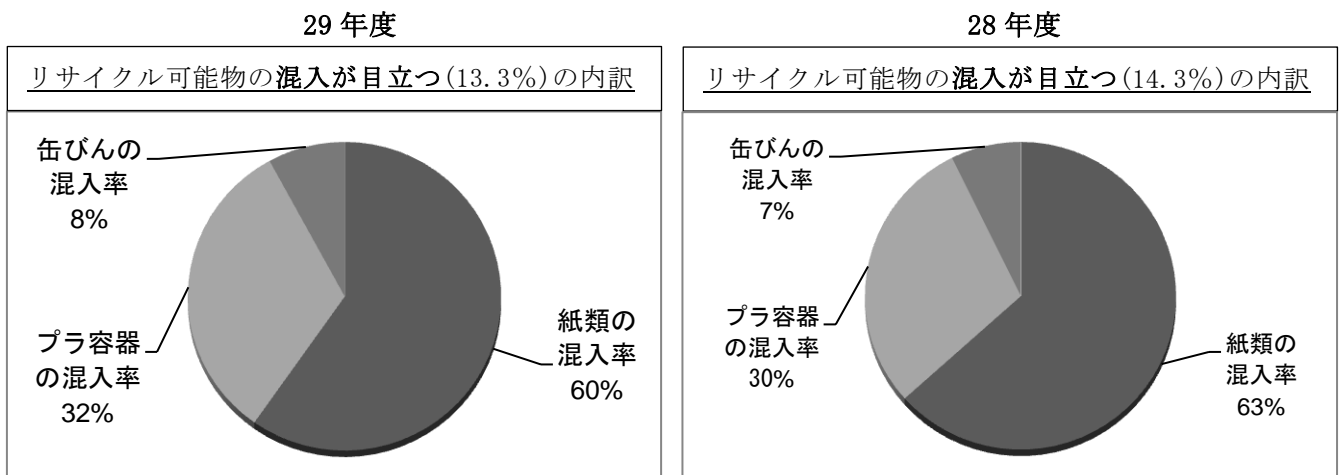
(3) リサイクル可能な資源物の混入状況（年度別）



これは、家庭ごみの中に、プラスチック製容器包装、紙類、缶・びん等のリサイクル可能な資源物の混入が目立つ袋の割合を表したグラフです。

平成 29 年度のリサイクル可能な資源物の混入が目立つ割合は 13.3%となり、28 年度に比べ 1.0 ポイント減少しました。

(4) リサイクル可能な資源物の混入が目立つ袋中の混入物の内訳

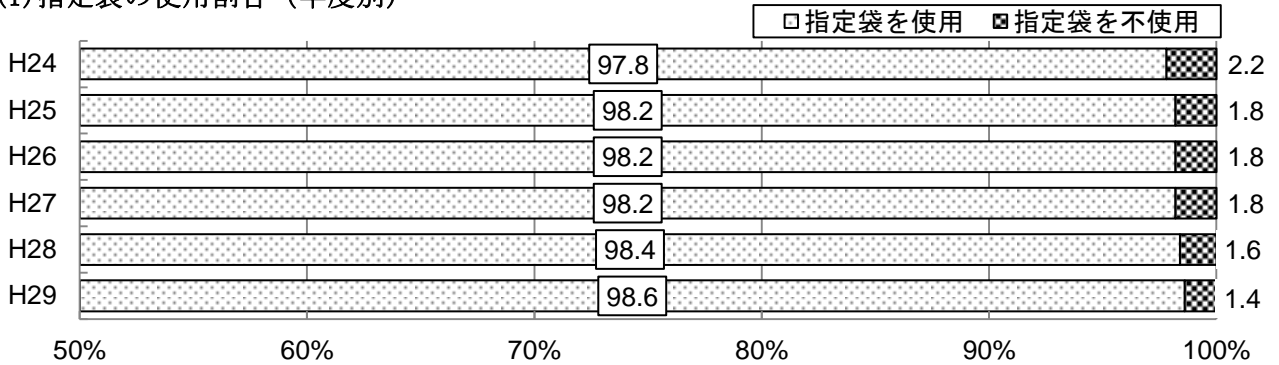


これは、(3)の平成 29 年度「リサイクル可能物の混入が目立つ袋」の混入物(13.3%)についての内訳と平成 28 年度「リサイクル可能物の混入が目立つ袋」の混入物(14.3%)についての内訳を比較したグラフです。

どちらのグラフも内訳では紙類の混入率が 6 割以上と大変高い割合となっております。ごみ減量を進めるにあたっては、リサイクル可能な紙類の分別をさらに進めることが重要であることがわかります。

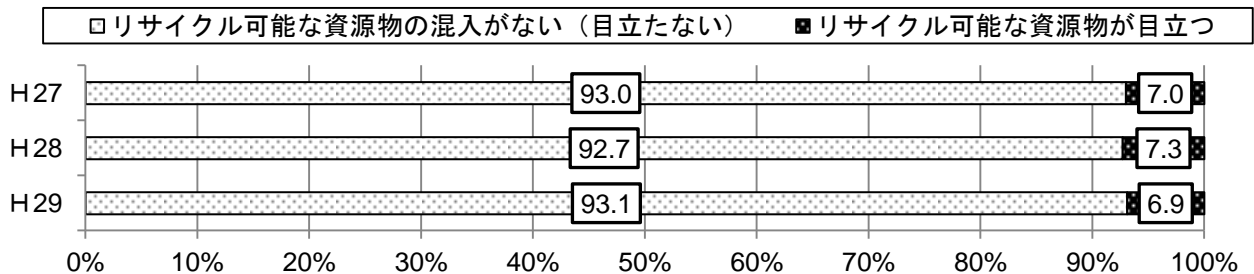
5 プラスチック製容器包装の排出状況

(1) 指定袋の使用割合（年度別）



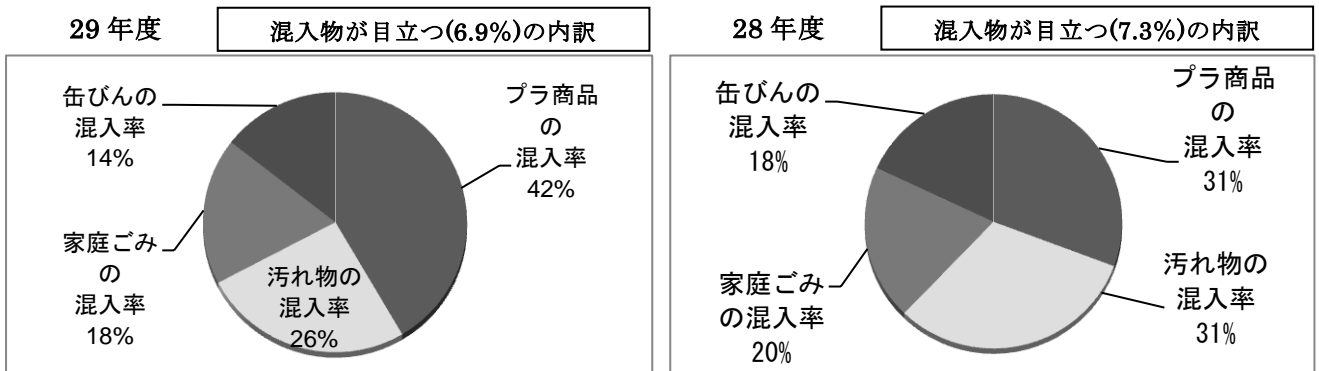
これは、プラスチック製容器包装の指定袋の使用状況を年度別に表示したグラフです。平成 25 年度からの 3 年間横ばい傾向が続き、昨年度から少しずつですが指定袋を使用する割合が増加しました。

(2) プラスチック製容器包装以外の物の混入状況（年度別）



これは、「プラスチック製容器包装以外の物が混入している（目立つ）袋」の割合を表したグラフです。混入が目立つ袋の割合は 6.9% となっており、昨年度に比べ 0.4 ポイント減少しました。

(3) プラスチック製容器包装以外の物の混入が目立つ袋の内訳



これは、(2)の「プラスチック製容器包装以外の物の混入が目立つ袋」の混入物についての内訳を表したグラフです。

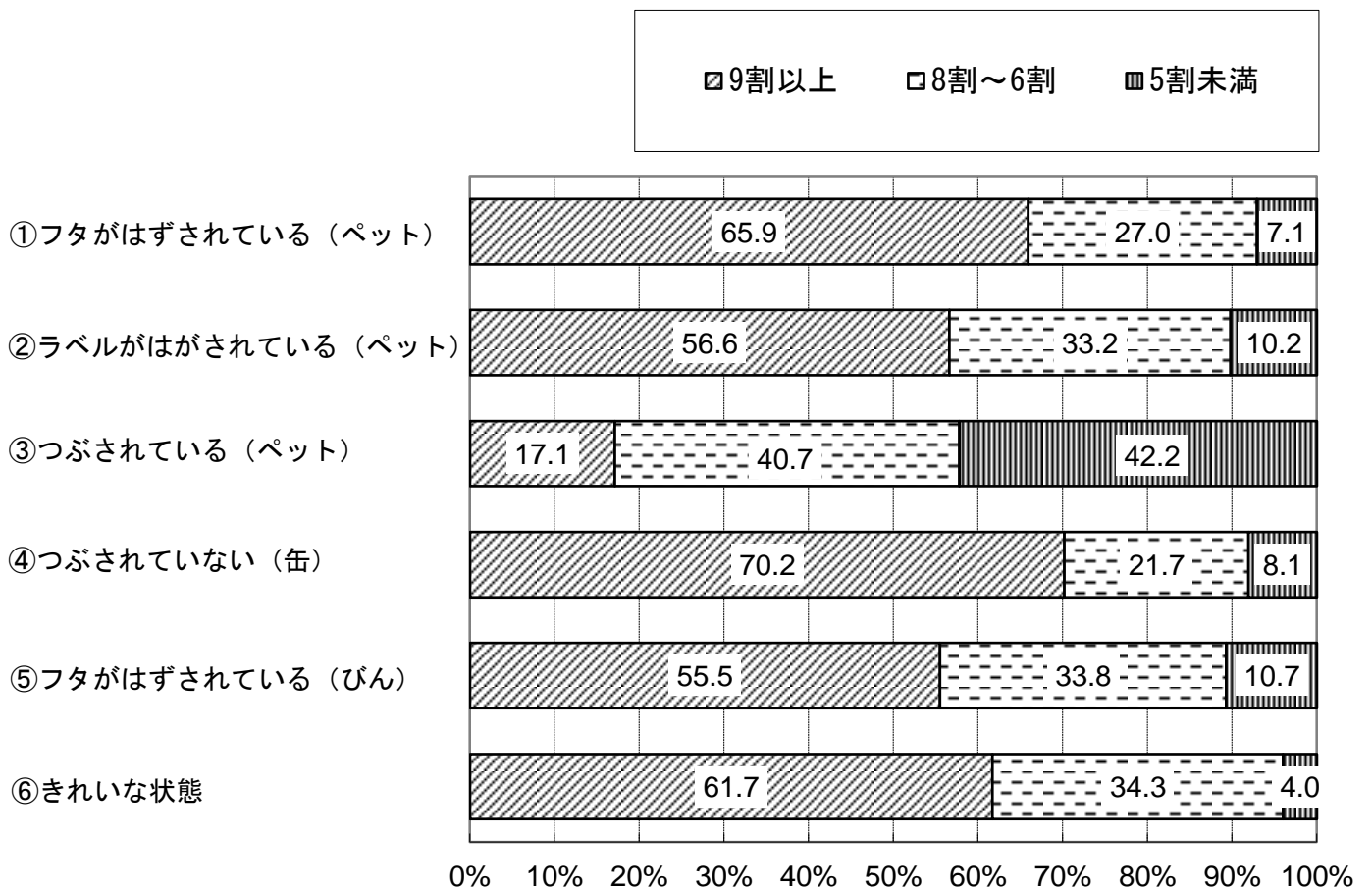
平成 28 年度から引き続き「プラ商品の混入」と「汚れ物の混入」の割合が高く、全体の 68% を占める結果となりました。今後もプラスチック製容器包装とプラ商品を区別する目安となる「プラマーク（右上図）」を確認して分別することが重要です。

また、プラスチック製容器包装であっても汚れている物はリサイクルできないことを、さらに周知していかなければならないことが分かります。

※中身が残っている状態のものはリサイクルできません。



6 缶・びん・ペットボトルの排出状況



これは、缶・びん・ペットボトルの排出状況について表したグラフです。

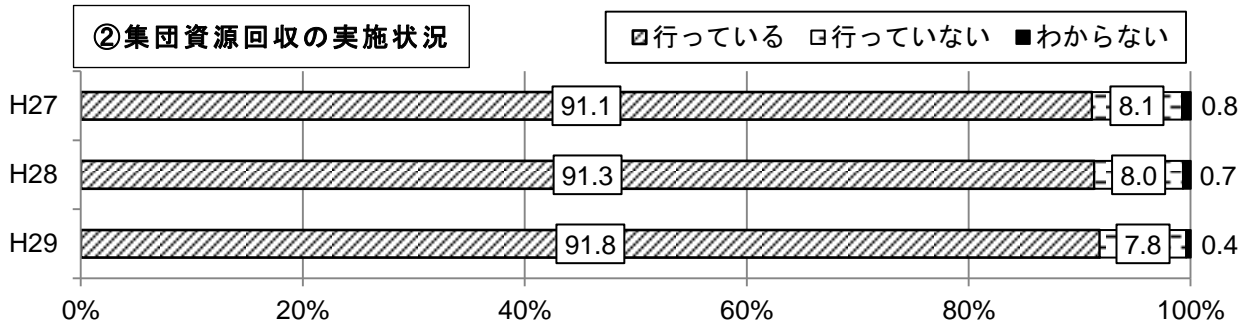
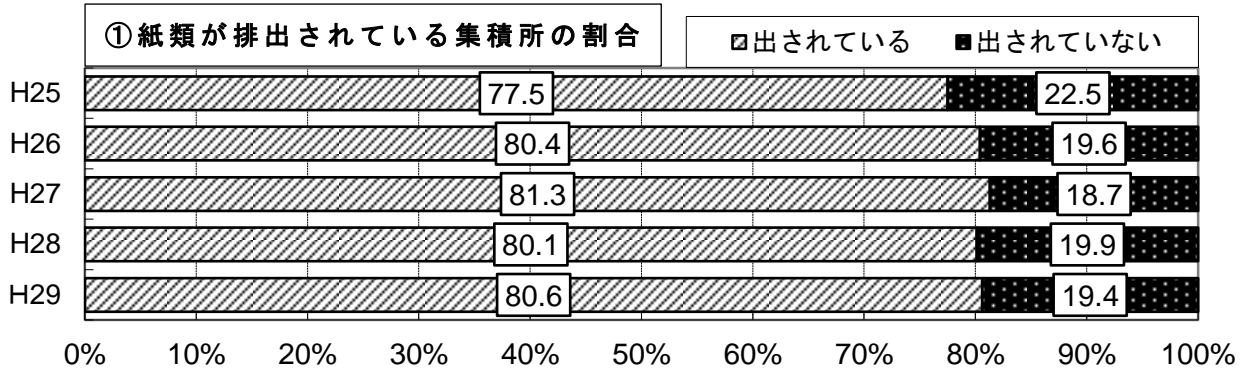
上段から、ペットボトルの排出状況について、①フタがはずされている状況と②ラベルはがされている状況は、「9割以上」「8~6割以上」を合わせると概ね9割となっており良好な状態であります。しかしながら、③つぶされている状況については、「5割未満」が42.2%とペットボトルの排出状況の中で正しい出し方のうち、最も浸透していない結果となりました。ペットボトルをつぶさないとすぐに回収容器がいっぱいになり、結果として、多くの回収容器が必要となり、排出スペースが広がるだけでなく、道路上、歩道上にある集積所では、歩行者等の通行の支障となるとともに、収集効率の低下にもつながります。皆さまのご協力とさらなるPRが必要であると考えます。

次に缶の排出状況について、④缶がつぶされていない状況は「9割以上」が70.2%で、「9割以上」と「8~6割以上」を合わせると91.9%となり良好な結果となりました。

次にびんの排出状況について、⑤びんのフタがはずされている状況は、「9割以上」と「8~6割以上」を合わせると89.3%の集積所で適正にびんのフタがはずされており、概ね良好な結果となりました。

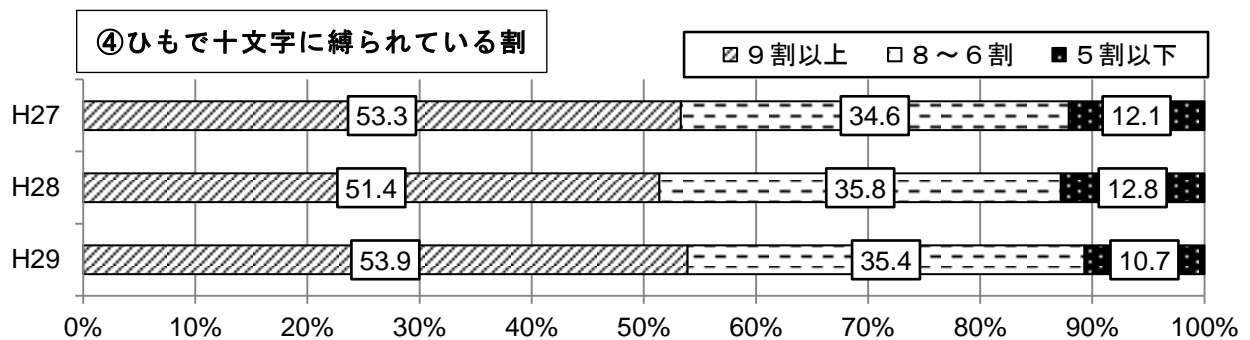
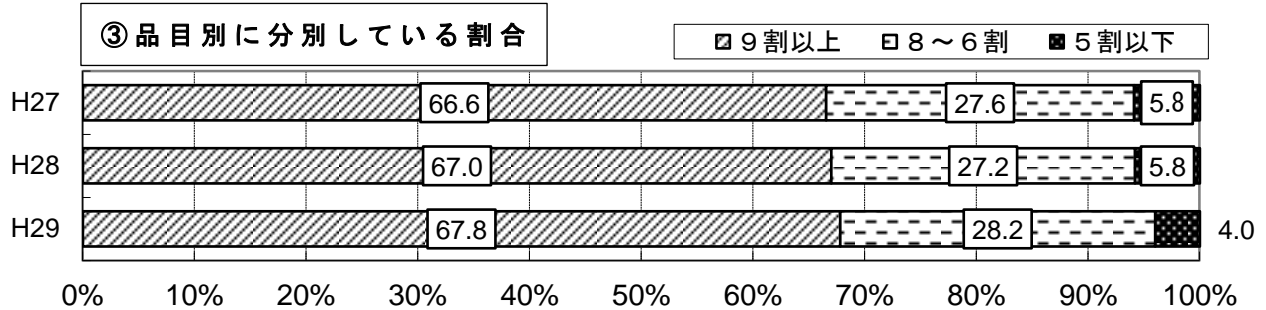
最後に⑥缶・びん・ペットボトルがきれいな状態で排出されている状況について、「9割以上」と「8~6割以上」を合わせると96.0%になり、良好な結果となりました。汚れのひどいものや異物が混入しているものはリサイクルできないことから、引き続き周知していきます。

7 紙類の排出状況（年度別）



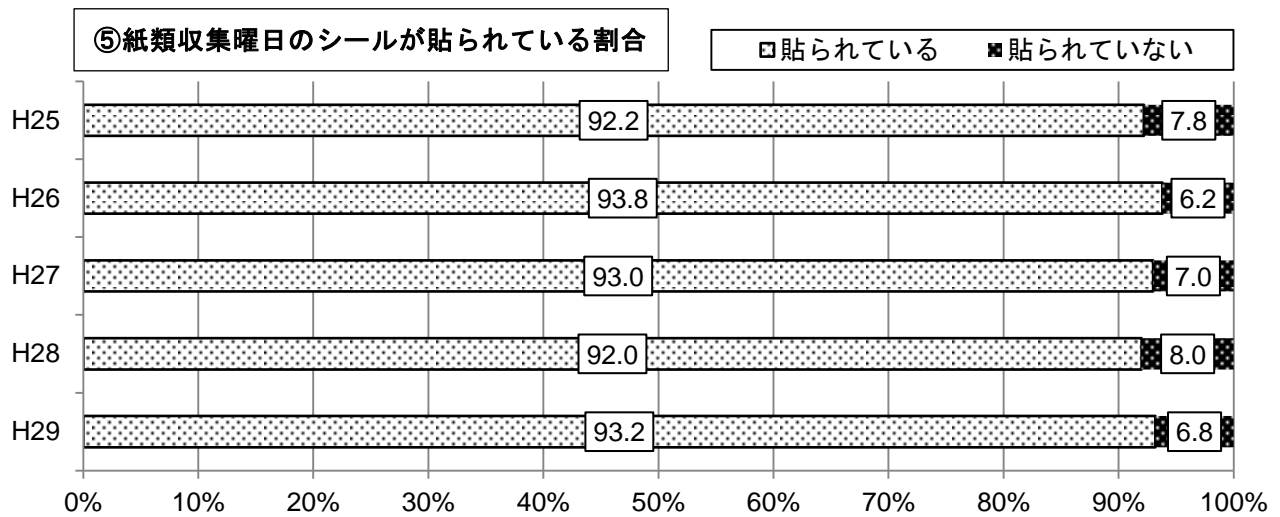
①については、紙類が出されている集積所は全体の8割以上あり、今回の調査では0.5ポイント増加しておりますが、依然2割程度の集積所では紙類の排出がありません。

②については、「実施している」は9割を超え、利用者に浸透している状況が窺えます。



③の「品目別に分別している」については、「9割以上」と「8~6割以上」を合わせると9割以上の集積所できちんと分別されています。

また、④の「ひもで十文字に縛られている」については、「9割以上」「8~6割以上」を合わせると8割以上となり、概ね良好な状態となっております。



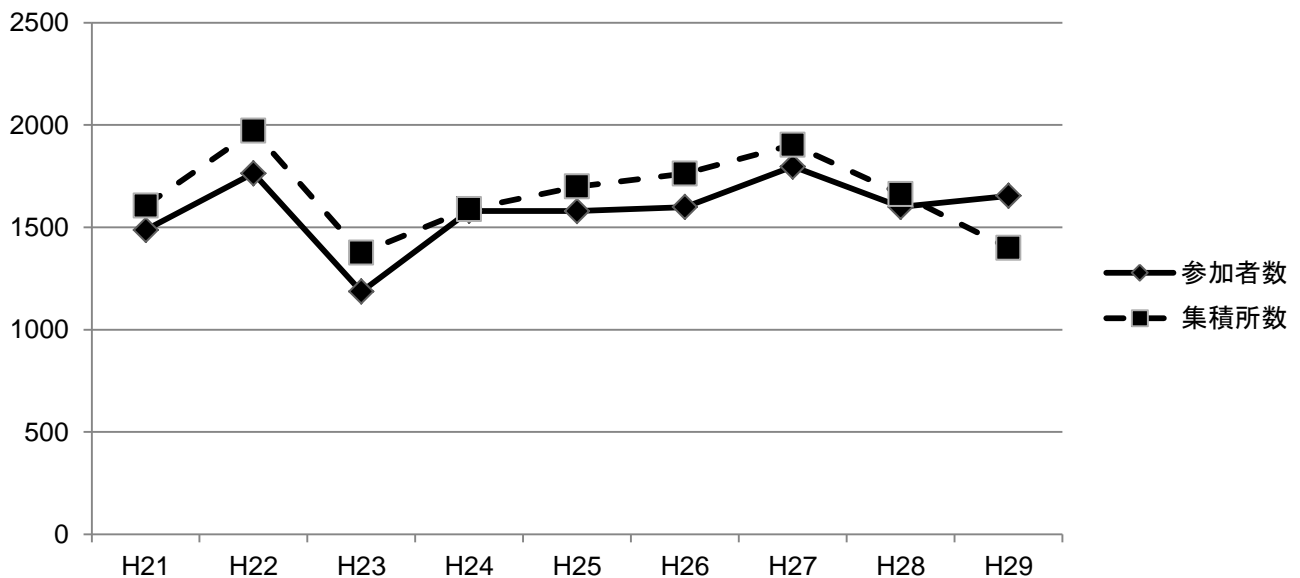
紙類定期回収の収集曜日シールの貼付状況は、「貼られている」が9割以上となっています。

紙類定期回収の収集曜日シールによる標示は、地域の方々に紙類定期回収の収集曜日を周知するのに大変有効です。シールが劣化し見えにくくなった等シールが必要な場合は、お住まいの区の環境事業所へご連絡をいただければ、配付いたします。

8 参考資料「年度別のごみ集積所排出実態調査参加人数及び調査集積所数」

人 (参加者数)

カ所 (集積所数)



これは、「ごみ集積所排出実態調査」の参加者及び調査集積所数を年度別に表したグラフです。

毎年度、多くの方々にご参加いただき、感謝申し上げます。

平成 21 年度は参加者 1,487 名、調査集積所数 1,606 カ所でしたが、平成 23 年度は震災の影響により、参加者 1,186 名、調査集積所数 1,375 カ所に減少しました。その後は徐々に増加し、平成 29 年度は、参加者 1,654 名、調査箇所数 1,399 カ所と大変多くの方にご協力いただきました。

ごみ集積所排出実態調査票

調査 No.

町内会名 _____

推進員氏名 _____ 推進員 No. _____ - 1 -

※調査記録者が申し込みされた推進員と違う場合は下記も記入をお願いします。

調査員記録者氏名 _____

○調査対象の集積所の状況

1 どんな場所にありますか？

- ① 道路上（歩道区分がない） ② 歩道 ③ その他（空き地など）

2 どんな形状ですか？

- ① 工作物（ネット等鳥獣対策あり） ② 工作物（鳥獣対策なし）
③ 工作物なし（ネット等鳥獣対策あり） ④ 工作物なし（鳥獣対策なし）

3 どのような方が利用していますか？

- ① 戸建住宅 ② 共同住宅（家庭が多い） ③ 共同住宅（単身者が多い）
④ ①～③の混在

4 利用している世帯数は、どのくらいですか？

- ① 1～9世帯 ② 10～19世帯 ③ 20～29世帯 ④ 30世帯～

5 集積所の状況について、感想や困っていることなどを記入してください。

[_____]

※ 調査が終わり次第、同封の返信用封筒にまとめて提出いただくよう、よろしくをお願いします。なお、封筒に入りきらない場合は、お住まいの地区の環境事業所にお問い合わせください。

※ ごみ集積所排出実態調査の説明書をご覧の上、補助票で積算していただき、積算結果を調査票に記入をお願いします。

○家庭ごみの排出状況（1回目）

調査月日 月 日 () 調査時間 : ~ : 天気

1 排出袋などの数を記入願います

①正しい出し方 {
・指定袋（大__袋、中__袋、小__袋、特小__袋）
・ポリバケツを使用し指定袋で出している__個

②間違った出し方 {
・指定袋以外の袋（旧指定袋・レジ袋など）__袋
・その他__個

2 リサイクル可能な資源物の混入している（目立つ）袋の数

{
・紙類__袋 ・プラスチック製容器包装__袋
・缶、びん、ペットボトル__袋

※ごみ袋は開封せず、袋の外側から見える範囲で判断してください。

○家庭ごみの排出状況（2回目）

調査月日 月 日 () 調査時間 : ~ : 天気

1 排出袋などの数を記入願います

①正しい出し方 {
・指定袋（大__袋、中__袋、小__袋、特小__袋）
・ポリバケツを使用し指定袋で出している__個

②間違った出し方 {
・指定袋以外の袋（旧指定袋・レジ袋など）__袋
・その他__個

2 リサイクル可能な資源物の混入している（目立つ）袋の数

{
・紙類__袋 ・プラスチック製容器包装__袋
・缶、びん、ペットボトル__袋

※ごみ袋は開封せず、袋の外側から見える範囲で判断してください。

〇プラスチック製容器包装の排出状況

調査月日 月 日 () 調査時間 : ~ : 天気

1 排出袋などの数を記入願います

- ① 正しい出し方 {
- ・ 指定袋 (大 袋、中 袋、小 袋)
 - ・ 指定袋が貼ってある発泡スチロール 個
- ② 間違った出し方 {
- ・ 指定袋以外の袋 (旧指定袋・レジ袋など) 袋
 - ・ その他 個

2 プラスチック製容器包装対象外の物が混入している(目立つ)袋の数

- {
- ① プラスチック商品 袋
 - ② 汚れのひどい物 袋
 - ③ 上記以外の家庭ごみ 袋
 - ④ 缶、びん、ペットボトル 袋

※ごみ袋は開封せず、袋の外側から見える範囲で判断してください。

〇缶・びん・ペットボトルの排出状況

調査月日 月 日 () 調査時間 : ~ : 天気

1 ペットボトルの排出状況

- ① ペットボトルのフタがはずされている ① 9割以上 ② 8～6割 ③ 5割以下
- ② ペットボトルのラベルがはがされている ① 9割以上 ② 8～6割 ③ 5割以下
- ③ ペットボトルがつぶされている ① 9割以上 ② 8～6割 ③ 5割以下

※ ペットボトルはつぶし、回収容器に出してください。

2 缶の排出状況

- ① 缶がつぶされていない (原形のまま) ① 9割以上 ② 8～6割 ③ 5割以下

※ 缶はつぶさないで、回収容器に出してください。

3 びんの排出状況

- ① びんのフタがはずされている ① 9割以上 ② 8～6割 ③ 5割以下

4 その他

- ① 缶・びん・ペットボトルはきれいな状態である ① 9割以上 ② 8～6割 ③ 5割以下

○紙類定期回収の排出状況

調査月日 月 日 () 調査時間 : ~ : 天気

1 収集日に紙類は出されていますか？

- ①出されている ②出されていない

2 品目別に（新聞・段ボール・紙パック・雑誌・雑がみ）きちんと分別されている割合はどのくらいですか？

- ① 9割以上 ② 8～6割 ③ 5割以下

3 きちんとひもで十字にしばられている割合はどのくらいですか？

- ① 9割以上 ② 8～6割 ③ 5割以下

4 集積所ステッカーに紙類収集曜日のシールは貼られていますか？

- ①貼られている ②貼られていない

※ 集積所ステッカー（収集曜日等）がはがれている場合は、お住まいの地区の環境事業所にご連絡ください。

(関連質問)

問1 あなたの地区では子ども会などで集団資源回収をしていますか？

- ①行っている ②行っていない ③わからない

問2 排出実態調査の参加は何回目ですか？

- ①初めて ② _____ 回目

問3 今回の調査を何人で行いましたか？

_____ 人

以上です。有難うございました。